

第 30 回 第 6 分科会会議録（概要）		場所	新宿区役所第一分庁舎 7 階 研修室
日 時	平成 18 年 11 月 4 日	記録者	樋口委員
	午後 1 時 00 分～午後 3 時 00 分	責任者	区事務局（荒井）
<p>会議出席者：18 名 傍聴者 0 名 （区民委員：15 名 学識委員：2 名 区職員：1 名）</p>			
<p>配付資料 進行次第 第 29 回 第 6 分科会会議録（概要） 第 6 分科会 第 28 回運営委員会記録（概要） 基本構想審議会配布資料（第 8 回抜粋；資料番号 3 及び 4） 区民会議提言書（小項目）と「譲れない項目」の関係整理 新基本計画における施策体系・たたき台 1 章及び 6 章修正版（学識委員作成資料） 新宿区基本構想審議会日程修正（案）</p> <p>進行内容 1 開 会 2 運営委員会の報告 3 基本構想審議会・起草部会の報告 4 審議会資料などに基づく全体討議とまとめ 5 閉 会</p> <p>概要 1 開会 2 運営委員会の報告（配付資料 参照） 高野リーダーより記録に基づき、起草部会の進捗状況、第 6 分科会の今後の作業・スケジュールや運営についてなどが報告された。 3 基本構想審議会・起草部会の報告 三田・土屋両学識委員より報告があった。 第 29 回分科会会議以降、基本構想審議会が 2 回開かれた。（10/16、10/30） 10 月 30 日は、「基本構想・基本計画（イメージ案）」と「施策体系のたたき台となる資料」（配付資料 ）が提出され、「まちづくり基本目標」の前半・後半の 2 グループに分かれて審議がされた。 今後、11/14・11/20 とグループ別審議があり、11 月 30 日の起草部会に引き継がれていくという重要な段階に来ている。</p>			

4 全体討議とまとめ

学識委員より「施策体系のたたき台となる資料」について、分科会の課題として二点指摘があった。

の基本施策に挙げられている項目立てを「個別目標」とすること

- 2 - 「外国人と日本人がともにくらしやすいまちづくり」を個別目標とする。

その場合 におくか、 におくかが考えられる。

以上の観点から、自治と多文化共生に関して学識委員より修正案が示された。

修正案にもとづき全体で討議し、

“ ”については、「原案の個別目標はあまりに抽象すぎて具体的なものが見えてこない」ということで修正案を評価し、了承された。

多文化共生については、個別目標に明記し、“ ”に入れるという修正案が了承された。

その上で以下の意見が出された。

- ・「参画と協働」に表現を統一する。
- ・「都市内分権」の意味は、特別出張所の機能強化など行政組織内の分権と地区協議会など市民への分権という二つの側面での分権という意味。言葉がわかりにくいとの指摘もされているので、「地域自治」に一本化する。
- ・「地区協議会と既存地域組織との連携促進」 提言書の内容に沿って改める。
- ・「コミュニティへ活動の関心を高める」 「へ」はトル。
- ・「外国人代表者会議」については、川崎・浜松など他自治体の事例も参考にすべき。
- ・今後の進行管理を行う組織が必要。 - 1 - に示されている。
- ・資料番号3に示されている基本計画の個別目標に付記されている「成果指標」とは？ 個別目標段階に成果指標を設けることは難しいので、修正を要する。
- ・基本計画の前文に基本構想に謳われる基本理念を掲げることが必要。
- ・審議会での議論について、「ソフト」というものは、心のつながりから始まるということが分っていない。

以上を審議会に参加している方たちに託し、代弁していただくことを確認した。

また、審議会・起草部会を傍聴し、審議過程をチェックする必要があることを再度確認した。

5 閉会

【次回日程】 12月2日(土)PM1:00~新宿区役所第一分庁舎7階 研修室